



# 十和田市

# 議会だより

## 目次

- ◆ 新議員の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ◆ 委員会の構成、一部事務組合議会の議員・・ 3
- ◆ 議案審議の状況・・・・・・・・・・・・・・ 4
- ◆ 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- ◆ 十和田工業高校生との意見交換会・・・・・・・・ 10
- ◆ 議会改革特別委員会報告・・・・・・・・・・・・ 11
- ◆ 常任委員会所管事務調査報告、  
請願等の状況・次回日程など・・・・・・・・ 12

**第57号**  
平成31年2月1日発行  
11月定例会・1月臨時会  
合併号



## 新議会 始動！ ～平成31年第1回臨時会開催～

### 就任のあいさつ



副議長  
野月 一博



議長  
竹島 勝昭

私どもは、このたび議長並びに副議長に就任いたしました。今、十和田市は人口減少や少子高齢化、公共施設の再編整備、中央病院の経営安定化、観光振興などさまざまな課題に直面しています。

そのような中、市民の皆様が健やかで笑顔で暮らせる十和田市をつくりあげるには、議会本来の役割である市政の監視、評価はもちろんのこと、皆様の声を吸い上げ、政策に反映するための市議会・市民との意見交換会を充実させていくことも重要と考えております。

ひらかれた議会を基本に据え、公平、公正かつ透明な議会運営を目指してまいりますので、より一層のご支援をお願い申し上げます。

# 新議員の紹介



なかお りか  
4 中尾 利香(61)  
東二番町2-31  
☎25-6739  
自民公明クラブ/1



なかじま ひでかず  
3 中嶋 秀一(60)  
元町西二丁目13-60  
☎24-3411  
自民公明クラブ/1



いまいずみ のぶあき  
2 今泉 信明(57)  
穂並町16-34  
☎23-0395  
市民連合クラブ/1



やまだ ようこ  
1 山田 洋子(43)  
大字法皇字焼山 64-170  
☎74-2341  
市民連合クラブ/1



きだ りょうこ  
8 氣田 量子(53)  
大字三本木字一本木沢108-3  
☎25-2167  
自民公明クラブ/2



さくらだ ゆりこ  
7 櫻田 百合子(51)  
稲生町4-38  
☎23-3275  
市民連合クラブ/2



やまはた ひろし  
6 山端 博(31)  
ひがしの二丁目1-12  
メソネットSOKEN C  
☎58-7009  
市民連合クラブ/2



おがさわら りょうこ  
5 小笠原 良子(69)  
東二十四番町28-5  
☎23-0249  
日本共産党/1



せきののりお  
12 堰野端 展雄(50)  
大字沢田字後平3  
☎73-2374  
自民公明クラブ/5



えと のぶたか  
11 江渡 信貴(55)  
稲生町15-12  
☎23-4530  
自民公明クラブ/3



くし としかず  
10 久慈 年和(67)  
大字三本木字北平147-706  
☎22-0706  
市民連合クラブ/2



さいとう しげみ  
9 齊藤 重美(62)  
大字奥瀬字赤石 1-20  
☎72-2552  
自民公明クラブ/2



とよかわ たいいち  
17 豊川 泰市(72)  
大字切田字豊川128  
☎23-3020  
市民連合クラブ/8



あかいし つくみ  
16 赤石 継美(71)  
大字奥瀬字柄久保83  
☎74-2756  
市民連合クラブ/8



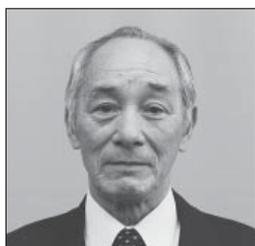
おがわ ようへい  
15 小川 洋平(69)  
穂並町1-52  
☎23-2508  
自民公明クラブ/7



いしばし よしお  
14 石橋 義雄(68)  
大字藤島字小山70-1  
☎28-3528  
自民公明クラブ/7



くどう まさひろ  
13 工藤 正廣(69)  
大字三本木字下平96-2  
☎23-4993  
市民連合クラブ/6



たけしま かつあき  
22 竹島 勝昭(74)  
西一番町22-20  
☎22-1638  
市民連合クラブ/11



はらい つとむ  
21 戸来 伝(67)  
大字藤島字小山68  
☎28-3145  
市民連合クラブ/11



のづき かずひろ  
20 野月 一博(70)  
大字洞内字杉ノ沢17-2  
☎27-2505  
自民公明クラブ/9



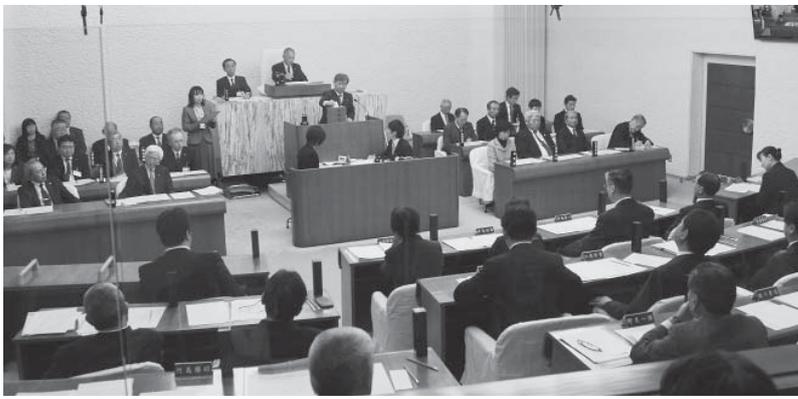
おrikawa たかし  
19 織川 貴司(78)  
西五番町14-8  
☎22-1625  
自民公明クラブ/8



やまはた ちかひろ  
18 畑山 親弘(73)  
大字切田字平林 226  
☎23-3008  
市民連合クラブ/8

新しい市議会議員22名を  
ご紹介いたします。  
※右上から左へ議席番号  
順に掲載しています。

H31.1.11現在  
議席番号 氏名(年齢)  
住所  
電話番号  
所属会派/当選回数



# 委員会の組織構成と 一部事務組合派遣議員を決定

～平成31年第1回臨時会～

## 委員会の構成

今期から常任委員会の数は3つ、定数は各7人、議長は常任委員会に所属しないことになりました。

### 総務文教常任委員会

委員長 畑山親弘  
副委員長 斉藤重美  
委員 山田洋子  
小笠原良子  
工藤正廣  
小川洋平  
同 野月一博

総務部、企画財政部、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、会計管理者の所管に関する事項や、他の常任委員会の所管に属しない事項を調査・審査します。

### 観光建設常任委員会

委員長 石橋義雄  
副委員長 山端博  
委員 今泉信明  
中嶋秀一  
同 氣田量子  
同 江渡信貴  
同 豊川泰市

農林部、観光商工部、建設部、上下水道部、農業委員会の所管に関する事項を調査・審査します。

### 民生福祉常任委員会

委員長 織川貴司  
副委員長 久慈年和  
委員 中尾利香  
櫻田百合子  
同 堰野展雄  
同 赤石継美  
同 戸来伝

民生部、健康福祉部、中央病院の所管に関する事項を調査・審査します。

### 議会運営委員会

委員長 戸来伝  
副委員長 堰野展雄  
委員 久慈年和  
同 江渡信貴  
同 石橋義雄  
同 赤石継美  
同 畑山親弘

議会の運営、会議規則、委員会に関する条例等、議長の諮問に関する事項を調査・審査します。

## 一部事務組合議会の議員

### 十和田地域広域事務組合

議員 山田洋子  
同 中嶋秀一  
同 櫻田百合子  
同 斉藤重美  
同 久慈年和  
同 堰野展雄  
同 豊川泰市

この組合は、十和田市、六戸町、おいらせ町、五戸町、新郷村で組織され、消防、学校給食、一般廃棄物処理施設の設置・管理運営、一般廃棄物の収集・運搬・処分、火葬場の設置・管理運営などの事務を行います(事務ごとに市町村の構成は異なります)。

### 十和田地区環境整備事務組合

議員 工藤正廣

この組合は、十和田市、三沢市、五戸町、六戸町、おいらせ町、新郷村で組織され、し尿処理施設の設置・管理運営、し尿・浄化槽に係る汚泥の収集・運搬・処分などの事務を行います。

### 十和田地区食肉処理事務組合

議員 今泉信明  
同 中尾利香  
同 山端博  
同 江渡信貴  
同 織川貴司  
同 戸来伝

この組合は、十和田市、七戸町、東北町、六ヶ所村で組織され、と畜施設の設置・管理運営などの事務を行います。

### 上北地方教育・福祉事務組合

議員 畑山親弘

この組合は、十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、おいらせ町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村で組織され、知的障害者施設・視聴覚ライブラリー・青年の家・青少年体育研修センターの設置・管理運営、介護認定審査会・介護給付費等の支給に関する審査会の設置・運営などの事務を行います(事務ごとに市町村の構成は異なります)。



# 11月定例会

— 議案審議の状況 —

平成30年第4回定例会は、11月8日から15日間の会期で開かれました。十和田市支所設置条例を廃止する条例の制定を初め、議案35件(議員提出議案3件含む)が上程され、いずれも原案のとおり可決されました。

**十和田湖支所と  
十和田湖公民館を廃止し  
ふるさと皆館をコミュニティ  
センターにします**

公共施設の再編整備のため、平成31年3月31日をもって十和田湖支所と十和田湖公民館を廃止し、4月1日から農村活性化施設ふるさと皆館(十和田湖支所に隣接)を「十和田市西コミュニティセンター」にします。

《主な質疑》

**Q** 十和田湖支所で行っていた住民票等の交付事務はどうなるのか。

**A** 一部を西コミュニティセンターで行うことを検討しています。

**Q** 公民館とコミュニティセンターの違いは。

**A** 公民館は、社会教育法に基づき、教育・学術・文化の事業を行い、教養や生活文化の向上等に寄与するための施設です。  
コミュニティセンターは、公民館の用途を拡充し、広く市民が利用できるところで、コミュニティ活動の加速を期待した施設となっています。

**十和田湖郵便局で  
住民票の写し等の  
交付サービスを開始します**

十和田湖畔地域の住民の利便性向上のため、平成31年4月1日から十和田湖郵便局で、住民票の写しや納税証明書等を交付するサービスを開始します。期間は1年間ですが、市、日本郵便株式会社の方から申し出がないときは継続されます。

《主な質疑》

**Q** これまでも地域住民から要望があったものだが、今回開始することになった経緯は。

**A** 湖畔地域の証明書発行サービスの実施については、これまでも検討してきましたが、各種情報収集で安価な方式に目処がついたためです。



休屋にある十和田湖郵便局

その他可決した主な議案

**消防団員の定年年齢と報酬額を引上げ**

消防団員の人員確保と処遇改善のため、消防団員の定年年齢を満68歳から満70歳に引き上げ、平成31年4月1日から年額報酬を一律5500円引き上げます。

**一部地区の水道料金の適用区分を変更**

簡易水道から上水道に編入された法量地区、段ノ台・川口地区、上川目地区、沢田地区、百目木地区の水道料金の適用区分を簡易水道料金から上水道料金に変更します。

**市役所新庁舎建設に関する工期を延長**

建築工事請負契約、電気設備工事請負契約、機械設備工事請負契約の工期を3か月延長し、平成31年6月12日までとします。

**各種施設の指定管理者を指定**

三本木小学校・藤坂小学校など各小学校の仲よし会、アネックススポーツランド、野菜集出荷貯蔵施設、職業能力開発校、奥入瀬溪流館、奥入瀬湧水館、奥入瀬ろまんパークなどの指定管理者を指定します。



氣田 量子  
(自民公明クラブ)

## 東地区の道路を整備し交通安全対策を

### 感応式信号機への交換等、協議を進める

**議員** 交通安全対策のため、総合衣料ヤマダ東店から北に延びる市道と県道三沢十和田線との丁字路交差点をどのように整備していくのか。

**市長** 信号機の押しボタン式から感応式への取りかえを、警察署等と協議したいと考えています。橋の拡幅整備は、関係機関と協議していきます。

**議員** 周辺の稲生川に、橋をかけて自動車が通れるようにしては。

**建設部長** 川を挟んだ南北の交差点間隔が狭く、交通処理が難しいことや、警察の指示で市道側の交差点部を通行止めしなければならなくなり、住民の合意形成が必要となること等から、計画検討には至っていません。

**議員** 自転車や歩行者用の橋をかける考えは。

**建設部長** 移動性の確保や、交通弱者対策として有効なので、可能性を県と協議します。



交通事故・渋滞の防止を

を目指します。

**議員** 死亡に関する手続きをまとめて扱う窓口「おくやみコーナー」を設けたり、窓口案内のコンシエルジュをふやしたりする考えは。

**民生部長** コーナーを設置する考えはありませんが、案内職員の配置で、安心して手続きができるよう体制を整備します。

**議員** 市役所新庁舎の窓口は、市民にたらい回し感を持たれないようなものになるか。

**民生部長** ワンストップ窓口はありませんが、市民の手続きが多い窓口担当課の1階への集約、総合案内カウンターを設置、案内職員の配置等で、市民が利用しやすい体制

**教育部長** 学校建設や老朽化した校舎等の大規模改修工事が予定されていますので、優先順位、緊急等を考慮して整備に努めたいと考えています。

## 都市計画公園の今後のあり方は

### 憩い・防災の機能を充実させる



櫻田 百合子  
(市民連合クラブ)

の充実を図りながら、適切な維持管理と施設整備に取り組みます。

**議員** 今後の公園整備の計画は。

**建設部長** 新たな整備計画はありません。

**議員** 公園に新たな遊具を設置する考えは。

**建設部長** 利用者の安全を第一に遊具の点検、修繕等を行っている状況で、高額な遊具設置への対応はできていません。耐用年数を超えた遊具等があれば取りかえとあわせ検討したいと考えています。

**議員** 限られた予算の中で計画的に遊具の整備・設置を進め、子供を産み育てたいと思えるまちづくりを進めてほしい。

**議員** 公園を取りまく状況や、その必要性、求められている役割は変化している。当市は将来的に持続可能なまちの実現を目指しているが、これからのまちづくりにおける都市計画公園のあり方は。

**市長** 住民の憩いの場、災害時の避難場所や防災拠点としての役割が求められるので、今後機能

の充実を図りながら、適切な維持管理と施設整備に取り組みます。

**議員** (仮称) 志道館の整備計画は。

**教育部長** 公共施設個別管理計画に基づき、今年度は基本構想を策定し、来年度以降、基本設計・実施設計・建設と進め、2023年に完成させる予定です。

**議員** 整備に当たり市民の意見を聞くため、市民会議を開催したようだが、その開催状況は。

**教育部長** 9月に第1回目を開催しました。今後は11月、来年1月に開催し、最終意見書を取りまとめる予定です。

**議員** 市民会議の当日に委員に資料が渡されると聞いた。あらかじめ資料を配付し、各委員がそれぞれの所属団体等で議論した上で会議に臨むことが必要だ。

また、同じく解体予定の勤労青少年ホーム体育館の利用状況も調査し、武道だけにとらわれず、実情に配慮した基本構想の策定を要望する。



志道館～新施設の構想に市民の声を～



文 英 甚 舛  
(日本共産党)

## 行政の判断で防犯灯を設置しては

### 要望があれば適宜対応する

**議員** 防犯灯設置は、

これまで町内会の申請により行ってきたが、必要と思われるところには行政の判断で行うようにしてはどうか。

**市長** 新たな防犯灯の

設置は、各地域の実情を把握している町内会等からの要望を受けて市が行っています。新規分譲等で町内会が設立されていない地域や、近隣の町内会に所属していない地域から直接要望があった場合も、町内会要望と同じように内容を精査し、状況に応じた対応をとっていきたいと考えています。

**議員** 町内会連合会は、町内会からの要望によりごみ集積ボックスの設置に補助をしているが、要望数にええきれない。町内会連合会へ

の助成をふやす考えは。

**民生部長** 町内会連合会

では、今年度は町内会からの新設・更新や修理の申請に全て対応しているとのこと。近年は各町内会からの要望も多くなく、町内会連合会から市への要望もないことから、補助金の増額は考えていません。今後とも町内会連合会と連携しながら町内会活動を支援したいと考えています。



町内会のニーズに対応を

**議員**

墓は、これまで

## は子孫が代々守りつない

### でいくものだったが、核

家族化が進み、子供たちが遠くに離れて住むようになると維持管理が難しくなる。そこで選択肢の一つとなるのが、お参りをする人がいなくても寺

などが恒久的に供養し続ける永代供養墓や、共同の墓石の下に遺骨を納める合葬墓である。市が共同墓地を設置してはどうか。

**民生部長** 市に永代供養

の問い合わせがある場合、それを行っている寺を紹介している状況です。今後は、墓をめぐる社会的な需要の変化に対応するため、共同墓地の設置について、先進地の事例等を参考に、市民の要望等を踏まえながら調査研究を進めていききたいと考えています。

**議員** 墓は、これまで

## 市街地循環バスの本格運行は

### 市民の需要やデータを検証し 早期に実施したい



和 年 慈 久  
(市民連合クラブ)

**議員** 今年度に市街地

循環バス実証運行事業を実施したが、本格運行の開始はいつごろか。

**企画財政部長** 広く市民

に利用してもらえよう、市民の需要やデータを検証し、できるだけ早い時期に本格運行を実施したいと考えています。

**議員** 本格運行に向け

た課題は何か。

**企画財政部長** 中心市街地循環バスは、1日平均

の利用人数は約16人でしたが、日曜日や午後4時以降の利用が少ないことが分かりました。十和田湖支所シャトルバスは、1日平均の利用人数が約4人と、全体的に利用が少ない状況でした。運行区間、バス停の設置場所、時刻等を再設定し、徒歩や自転車での移動が困難となる冬期間の運行も含めて、さらに市民の需要を把握する必要がありますと考えています。

**議員** 青森県たばこ耕作組合十和田支部跡地周辺を整備して、早期に駐車場として活用する考えは。

**市長** 市民図書館や保健センター利用者の駐車場として整備し、利便性の向上につなげたいと考えています。なお、同支部の建物は、平成31年度の新庁舎外構工事のため解体される庁舎西側分庁舎に入居している外郭団体事務局等の一時的な移転先として使用したいと

考えています。このため駐車場の整備は、新庁舎建設事業完了後を予定しています。



駐車場を十分に確保せよ

**議員** 若葉球技場西側の(仮称)屋内グラウンド建設予定地は、現在、大型バスの駐車場として利用されている。建設中は駐車場をどう確保するのか。

**教育部長** 平成31年度に建設工事が始まると、その敷地が駐車場として利用できなくなり、若葉球技場の利用者に不便をかけますので、赤沼字下平の市有地を臨時駐車場として利用することを検討しています。

## 消防団員の準中型免許 取得に支援を

### 今後の検討課題としたい



堰野端 展 雄  
(自民公明クラブ)

**議員** 道路交通法の改正で、平成29年3月から車両総重量3・5トン以上7・5トン未満の自動車を運転できる準中型免許が新設され、普通免許で運転できる車両総重量の上限が3・5トン未満に引き下げられた。これにより消防用のポンプ車の多くは新たな普通免許では運転できなくなつた。消防団員が準中型免許を取得する費用に助成

する考えは。

**市長** このたびの法改正で直ちに支障が生じることはありませんが、これから消防団に入る若い世代が消防団車両を運転できなくなることを防ぐため、国の財政措置を利用しながら、消防団員の確保について今後検討したいと考えています。



地域を守る消防団

**議員** これからの時代は、いわゆる箱モノをつくるよりも光回線を整備した方がさまざまな可能性が生まれると考えている。市内に光回線の未整備地域があるので、全域に普及させる考えは。

**企画財政部長** 市は平成29年度に国の事業を活用

し、十和田湖畔地区に光ファイバーを整備しましたが、高齢者世帯が多いこと等から、加入申込者の確保が難しい状況です。他の未整備地域においても同様の課題が見込まれる中、多額の費用を要する整備を市が単独で行うことは困難です。今後、国の新たな補助制度に注視していくとともに、これまでの事業効果も検証した上で慎重に検討したいと考えています。

**議員** 仕事と家庭を両立させる職場づくりのためには、介護休暇や育児休業等の制度の普及が課題だ。市職員の介護休暇等の取得状況は。

**総務部長** 平成29年度の病院事業職員を除いた正職員の取得状況は、介護休暇は0人、育児休業は男性2人、女性7人です。育児休業対象者に対する取得者の割合は、男性13・3%、女性100%です。



江 渡 信 貴  
(自民公明クラブ)

**議員** 地球温暖化により夏の暑さが厳しくなっている。全小中学校に冷房設備を設置する考えは。

**教育部長** 体調を崩した児童生徒のために、各校の保健室に冷房設備を設置できないか検討しているところですが。

**議員** 学校は災害時の緊急避難所にもなることから、熱中症対策として、保健室や特別教室には早急に設置してほしい。

**議員** 市街地循環バスは今後市民の暮らしに欠かせないものになる。平成30年7月から9月まで行った実証運行の成果と、今後の進め方は。

**市長** 3か月間の実証運行の結果、多くの方からまた利用したいという回答をいただきました。頂戴した意見やアンケート

## 全小中学校に冷房設備を

### 保健室への設置の可能性を検討

トの結果、さらに過去に実施した北里大学循環バスの運行結果も踏まえ、来年度は運行区域、バス停の位置、時刻等を見直して、再度実証運行をしたいと考えています。また、徒歩や自転車での移動が困難となる冬期間の運行も含めて検証を進めたいと考えています。

**議員** 市がバスを保有して運行する考えは。

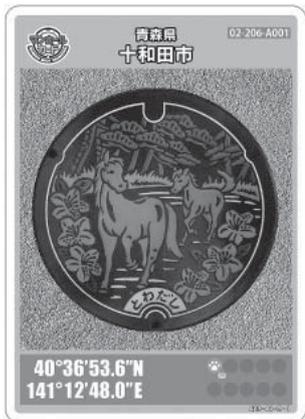
**企画財政部長** 今回の実証運行では、交通事業者が所有するバスを使用したことから、通常の路線バスとの区別がつきにく

いという反省点がありました。よって市でバスを購入し、デザインを施して、路線バスとの差別化や利用向

上に向けた取り組みをすることを考えています。運行については、委託等、効果的な手法を検討したいと考えています。

**議員** マンホールカードの制作状況は。

**上下水道部長** マンホールカードは、下水道への理解や関心を深めてもらうための広報手段の一つとして、下水道広報プラットホームが制作しているものです。市は平成30年9月に登録申請をし、当選したので、現在制作を進めているところです。



発行中のマンホールカード



山端 博  
(市民連合クラブ)

## 幼児教育・保育の無償化後 待機児童が発生する懸念は

### 保育施設等の受け入れに心配はない

の保育所等施設はすべて受け入れることができるのか。

子ども・子育て支援新制度に沿った保育所等の施設数、利用定員、入所児童数（健康福祉部長答弁）

年 度	平成27	平成28	平成29	平成30
施 設 数	27	31	31	32
利 用 定 員(人)	2,189	2,269	2,264	2,344
入所児童数(人)	1,899	2,021	1,987	2,045

※各年度4月1日現在

市 長 無償化開始時点で、対象となる3歳以上の児童の保育施設等の状況は、利用定員1383人に対して入所児童数1301人であり、80人程度の余裕があります。このことから受け入れに心配はないと認識しています。今後も待機児童が生じないよう、適正な管理・運営に努め、十分に需要に応じていきたいと考えています。

## 公契約条例を制定し 地域経済に好循環を 利点もあるが 経営圧迫等のおそれもある



畑山 親弘  
(市民連合クラブ)

や、他市町村、県外への転出につながる。よって市は公契約条例を制定し、少なくとも従業員の賃金は市で積算している賃金に沿っているかどうか等のチェックをする必要があると考える。こうした条例の制定は地域経済の好循環につながるものと思うが、市の見解は、

総務部長 条例制定によって、労働者の賃金改善等が図られ、地域経済の好循環につながると考えます。一方で賃金等の条件を設けると、自由競争を阻害するおそれや、事業者の経営の圧迫や事務負担の増につながる可能性があると認識しています。

市 長 支援策の拡大に加え、企業誘致支援大使等の活動を通じた企業の情報収集、首都圏等のフェアでの新制度のPRや当市の情報発信、アンケート調査の実施やセミナーへの参加等、積極的な企業誘致に取り組んでいます。北里大学や、豊富な水資源、農畜産物等、当市の優位性を活かした誘致活動を展開し、市の特徴や魅力に適した企業の誘致に結びつけたいと考えています。

健康福祉部長 国が認めている待機児童解消のための緊急的な対応策です。当市では待機児童はいませんが、発生を未然に防止するため、利用定員が60人以上の施設では利用定員の10%、60人未満の施設では5人を限度とし

利用定員の弾力化に取り組んでいます。

議員 国による幼児教育・保育の無償化が平成31年10月から実施される予定だ。これにより、それまで保育所等を利用していなかった児童の入所希望がふえた場合、当市



希望する保育所等を利用できるように

議員 公契約条例は、市の業務発注（請負、業務委託、指定管理）に当たり安定した企業経営と雇用のもとに、従業員の賃金、労働条件を改善することで公共サービスと地域経済の活性化を進めていくための制度だ。勤労者であれば誰もが安定した賃金で働きたい、そして働きたいのある職場に勤めたいの思いがある。条件が悪ければ離職



受注業者の労働条件改善を

議員 当市にはササキコーポレーションや北農産加工等の地元企業、北里大学獣医学部、里ノ沢工場団地、上十三地域の中心としての食肉センターと食肉加工団地等の誘致企業等、最近ではマル厨工業や日本の窓等の進出がある。市では、平成30年3月に企業立地奨励条例の一部を改正し、企業立地奨励金の上限額を5億円まで引き上げたが、企業誘致の具体策を検討しているのか。

# 十和田湖・奥入瀬溪流の 市独自の保全策を

## 環境保全の意識啓発に努めたい



竹島 勝昭  
(市民連合クラブ)

**議員** 十和田湖・奥入瀬溪流は、マナーやルールを守らない観光客によって裸地化と植物の外來種の繁茂が進み、原生の自然が失われつつある。国や県に頼るだけではなく、市独自の積極的な保全策をとる考えは。

**観光商工部長** 十和田湖・奥入瀬溪流の環境保全は、国立公園の管理者である環境省と遊歩道管理者である県の所管業務

です。そのため今後とも国・県に対策の強化を要請するとともに、国立公園のルールやマナーの情報や各種媒体に掲載するなど、意識啓発に努めたいと考えています。

**教育部長** 文化財でもある十和田湖・奥入瀬溪流の現状を変更する行為が、その価値を損なうことがないよう、指導、注意喚起やパトロールを行っています。

**議員** 観光客の靴底を介して外來種が持ち込まれないようにするため、世界自然遺産に登録された小笠原諸島での取り組みを取り入れ、靴底の消毒マットを設置する考えは。

**観光商工部長** 外部からの入り口にゲート機能がなく、さまざまな交通機関を利用する観光客に消毒を徹底することは難しいので、環境省による外來種対策の動向に注視したいと考えています。

**議員** 違法駐車や立入禁止エリア侵入への対応



危機感をもって環境保全策を

は、注意喚起の看板だけでは限界がある。レンジャーによる日常的なパトロールをする考えは。

**観光商工部長** 県とともに環境省に対し、国立公園内の巡視や各種調査を行うアクティブ・レンジャーの体制充実を働きかけたかと考えています。

**議員** 十和田湖・奥入瀬溪流の自然は着実に破壊へと向かっている。これに目をそむけ、人を呼び込むことにはかなり必死にならなければならない。ルールを厳格にすることで、本来の姿が保たれ、いつまでも色あせることなく人々を魅了し続けることになる。早急に対応策を講ずるよう切に願う。



石橋 義雄  
(自民公明クラブ)

**議員** コメリパワー十和田店東側にある市道並木東東小稲線の南方への整備が遅れているが、計画はどうかしているのか。

**建設部長** この路線は昭和51年に計画決定されましたが、社会情勢の変化等による交通形態の把握ができていないこと等により、整備が進んでいません。今後は人口減少等による限られた財源の中で整備を進めることとなるため、都市計画道路網の見直しも必要になると考えています。今後の見直しや財政状況等をみながら、整備時期等を判断したいと考えています。

**議員** 都市計画法で用途が指定された地域(用途地域)周辺の宅地化が進んでいる。そういった状況でも用途地域以外の

## 市道並木東東小稲線の早期整備を

### 今後の状況を見て時期等を判断する

農地を転用して住宅等や建てようとしても、農業委員会から、その農地は転用が原則不許可となる農地法上の第1種農地に該当すると判断される場合が多いと聞く。農地を有効活用して住宅等の整備を促進するため、制限を緩和し、市が主体性を持って利用計画に取り組む考えは。

**農業委員会会長** 農地法に基づく農地転用許可制では、農地を立地条件等により第1種や第3種等と区分し、転用許可基準を定めて規制しています。農業委員会は農地法を法令業務としていますが、国や県の基準に基づいて業務を遂行します。規制の見直しはまだまだ先の話と考えます。

**議員** 紅葉の名所とし



日本の絶景 紅葉の蔦沼

**観光商工部長** 蔦沼は爆発的に観光客がふえている状況です。環境を保全しながら持続可能な観光推進を図るため、駐車スペースの確保や交通渋滞の解消につながる対策を、蔦沼遊歩道を管理する環境省や警察、道路管理者、地権者等と協議し、対応策を調査研究したいと考えています。



戸来 伝 (柘の会)

### 市長の広報・広聴の姿勢は

## できるだけ多くの 市民の声に耳を傾けたい

**議員** 市民と行政の協働のためには、市長の考

えが市民に伝わり、市民の思いが市長に届くことが肝心だ。どのように広報と広聴をしているのか。

**市長** 広報とわだやホームページ等で市の情報をお知らせするとともに、市民の関心の高い施策等

についての意見の公募や、町内会・北里大学生・若手農業者等との懇談会の開催、各種会合への出席をしています。今後も広く市民の声に耳を傾けながら魅力あるまちづくりに取り組んでいきます。

**議員** 市民が市長と直接対話できる懇談会を開催してはどうか。

**市長** 時間的な制約がある中でどのような形で行うのがよいかを、議員ご提案の方法も含め検討したいと考えています。

**議員** 中心商店街の空き店舗に、市民と議員が気軽に話をする事ができる場所をつくれれば、中心商店街に人が集まるようになるし、協働のまちづくりのためにも有意義だと思いが、どうか。

**観光商工部長** 市民と議員の交流の場としては、市民交流プラザ「トワール」や、みちのく銀行旧稲生町支店跡地に整備予定の(仮称)地域交流センターを活用してほしいと考えています。

**市長** ご提案のとおり議員一人に一つずつ交流の場をつくれれば全国ニュースになると思いますが、設置はあくまでも議会活動の話と考えます。

**議員** 世界の有名なブランド品を売る店が来るようにして、中心商店街を、米国ビバリーヒルズ

のロデオドライブに匹敵するような通りにしてはどうか。

**市長** 何らかの目的を持って中心商店街の店を訪れる人をふやすことが大事です。そういった店を確保するため、この地域にはこの商売がないから誰か出店しませんかと市が発信して支援することも一つの方法です。商店街の方の話を聞きながら、工夫をして空き店舗を一軒でも少なくしていきたいと考えています。



商店街に市民と議員の交流の場等を

## 次代を担う青少年と未来を語りあう！

—十和田工業高校生との意見交換会—

### 《生徒の感想》

◆ 私たちが考えていることを議員も考え、実行しようとしていることを知ることができてよかったです。

◆ 簡単に改善することができないのではないかと考えていたことも、実際に話を聞くとさまざまな苦労があることがわかりました。

◆ 自ら行政に対し要望していくことの大切さを学びました。

### 《議員の感想》

◆ 自分の考えを述べる事ができる生徒が大勢いて、大変すばらしいと思いました。この生徒たちの中から将来市議になる人が出てくるのが楽しみです。

「自分のまちは自分たちがよくする」の気持ちを大切に！

◆ 市長も議会も、よりよいまちにするため、若者がふえることを期待しますが、多くの生徒は、卒業後も十和田に住みたいかという問いに、遊ぶ場所が少ない、希望する職種がないと答えるなど、十和田が魅力のないまちなっていていることに驚きました。

◆ 高校生が自分たちの意見を明確に堂々と述べている姿は大変頼もしく、うれしいです。これを機会に議会や政治に興味を持っていただいて、進んで投票に行くようになってくれれば、投票率向上につながるかと期待しています。



# よりよい

## 議会をしくむ

### 議会改革特別委員会報告

平成30年第1回定例会で設置された議会改革特別委員会は、6回にわたって調査と審査を重ね、第4回定例会までに議会改革のための提言をまとめました。

当議会は、示された改革案の実現に向け、今後さらに検討を進めてまいります。



議会の未来像を熱心に議論しました

#### 議会にタブレット端末の導入を

会議運営の効率化と政務活動能力の向上のため、タブレット端末を導入するかどうかを検討しました。

検討に当たり、まずは導入の利点と欠点を整理しました。

※タブレット端末：ほとんどの操作を液晶画面に指を触れて行うタイプのコンピュータ

#### 《主な利点》

- ・資料の電子化で情報の持ち運びが容易に
- ・端末の検索機能で議員の調査能力が向上
- ・インターネットで情報や連絡のやりとりが迅速化
- ・紙の削減で、印刷や配付に伴う経費や職員の負担が軽減

#### 《主な欠点（不安な点）》

- ・導入と運用に今以上の経費負担が発生
- ・操作に慣れるのが難しい
- ・デジタルより紙の方が優れている部分もある



議会全体で操作体験会を実施

欠点の一部は工夫によって克服が可能であることや、経費増大の懸念以上に導入効果が高いことから、タブレット端末は導入するべきであるとの結論に達しました。また、市当局においても同時に導入することが望ましいと意見をまとめました。

#### 議会報告会のやり方を改善し、活性化を

平成25年から継続して開催している議会報告会（市議会・市民との意見交換会）が、近年は参加者数が減少傾向にあるため、これからの方向性について検討しました。

従来の形の議会報告会については、次のような

ことを実施するべきであるとししました。

- ・ポスター告知の実施
- ・7月下旬頃に開催（市民の意見を次年度予算に反映させるため）
- ・来年度は旧十和田湖町地区で重点的に開催
- ・意見交換に地域課題等のテーマを設定

また、公募をもとに各種団体等と意見交換をする形も検討するべきであるとの結論に達しました。

#### 各常任委員会の委員定数をふやして審議能力の向上を

審議の充実のために、より適切な常任委員会の数や委員定数について検討しました。

県内でも委員定数の平均が少ないほうであること、人口数が同規模の全国の自治体では、常任委員会の数を3以下とするところが大半であること、また当市の委員会の活動状況を考慮し、次のように常任委員会の数をへらして1委員会あたり

の委員定数をふやすことが適当との結論に至りました。

#### 《現行》

- ・総務文教 6人
- ・民生福祉 6人
- ・観光経済 5人
- ・建設 5人

#### 《改正案》

- ・総務文教 7人
- ・民生福祉 7人
- ・観光建設 7人

※観光経済と建設を一本化し、議長は常任委員会に所属しない

↓提言を受け委員会条例が改正され、平成31年1月から適用されます。

#### 議会改革特別委員会

（平成30年3月22日

～11月8日）

委員長	堀野端 展雄
副委員長	畑山 親弘
委員	山端 博
	久慈 年和
	石橋 義雄
	小川 洋平
	戸来 伝

## 請 願 ・ 陳 情

審議未了となりました

十和田市道見世糠森線（路線番号 1098）拡張  
及び舗装工事に関する請願

請 願 者 見世町内会 会長 小笠原健一 他2名  
紹介議員 久慈年和・山端博・櫻田百合子

## 意見書を提出しました

- ・西十和田トンネル建設促進に関する意見書
- ・被災者生活再建支援法の改正を求める意見書

## 議会傍聴の案内

議会を傍聴される方は、議場の傍聴者入口にて受け付けし、傍聴券の交付を受けてください。

なお、傍聴者の定員は45名で、先着順になっています。

市役所駐車場に駐車できない場合は中央駐車場をご利用ください。利用者には傍聴者入口で駐車場無料券を配付します。

## 平成31年第1回定例会の開催予定

2月27日（水）本会議（開会）  
3月 8日（金）、11日（月）、12日（火）  
一般質問  
3月19日（火）本会議（閉会）

### 予算審査特別委員会

3月14日（木）、15日（金）、18日（月）

※各常任委員会の開催予定日は未定です。  
※日程は変更になる場合がありますので、詳しくは下記  
連絡先までお問い合わせください。

議会だより編集委員会  
（平成30年12月31日）

委員長 江渡 信貴  
副委員長 氣田 量子  
委員 櫻田百合子  
齊藤 重美  
久慈 年和  
舩 甚 英文  
赤石 継美  
畑山 親弘

この「議会だより」が皆様のもとへ届くころには、市議会議員選挙も終わり、22名が新議員として活動を始めております。魅力ある十和田、住みやすい十和田を目指し、22名一丸となって市民の皆様のため活動してまいります。そして公平、公正かつ透明な議会運営はもちろん、市民との情報の共有を図りながら、活発な意見交換を行い、ひらかれた議会づくりにも取り組んでまいります。皆さん！これからも、ともに十和田市を「もっとうー」「もっとうー！」元気にしていきたいと思います。

（文責 江渡信貴）

# 常任委員会

## 所管事務調査報告

### 総務文教常任委員会

○新庁舎建設の進捗状況について

理事者から以下の説明を受け、建設中の新庁舎を視察しました。

・完成予定は平成31年3月だったが、最低でも2か月程遅れる見込み  
・遅れの主要因は、地下埋設物撤去に日数を要したことや作業員確保が難航したこと  
↓進捗状況を随時説明しながら、無事故で工事

を進めてほしいと意見集約しました。

### 建設常任委員会

○市道立石・高田線の整備について

理事者から以下の説明を受け、現地を視察しました。

・全線幅は費用面で難しいため、接続する市道焼山線の整備の進捗を勘案しながら整備したい  
・市道焼山線の整備につ

いては、立石発電所の送水管の上にある市所有の紅葉橋の架け替えが懸案であり、東北電力との協議が必要

・冬の凍結対策として、ことしは起点と終点の坂道に融雪剤を散布する予定

↓東北電力との協議を優先し、市道焼山線の整備の方向性を定めてから市道立石・高田線を進めてほしいと意見集約しました。

○市道焼山線について

理事者からは以下の説明を受け、現地を視察しました。

・旧笠石家交差点西側から桂月橋交差点東側までの区間の整備は、未買収の用地があるため未着手  
・用地交渉が難しい箇所もあるが、現道のままでも整備は可能  
↓できるだけ早く事業を進めてほしいと意見集約しました。

## 編集後記